

講義録レポート

講義録コード

04-64-1-401-02

講座	応用情報技術者	科目①	模試編
目標年	2026年春期合格目標	科目②	公開模試解説 科目B
コース	本科生プラス/A/B 本科生/A/B 上級コース/A/B	回数	1 回

講師名	根岸 良征 講師	内 訳	板書 枚数	8 枚
			補助ビジュアル 枚数	0 枚
			その他	0 枚

講義構成	解説1 (52分) → 休憩 (10分) → 解説2 (40分) → 解説3 (41分)
使用教材	公開模試 科目B問題
	公開模試 解答・解説
配付 教材・資料	
備考	※公開模試解説 科目Bについて、第1回では問1～問3の解説を行います。

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

TAC 情報処理講座

情報処理 講義録	コース・講義等	応用情報	科目	公開模試解説 科目B	回数	1

配布物	★テスト類： []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

問1

表1. 情報セキュリティの特性

C: 機密性: 守秘 → 盗聴を防ぐ

I: 完全性: 改ざん, バグなどで, データがこわれる

A: 可用性: 使いたい時に使える

真正性: 本人/本物である

責任追跡性: ログなどで, 原因を追跡できる → デジタルフォレンジック

否認防止 → デジタル署名

信頼性

DDoS攻撃: 分散型 DoS 攻撃

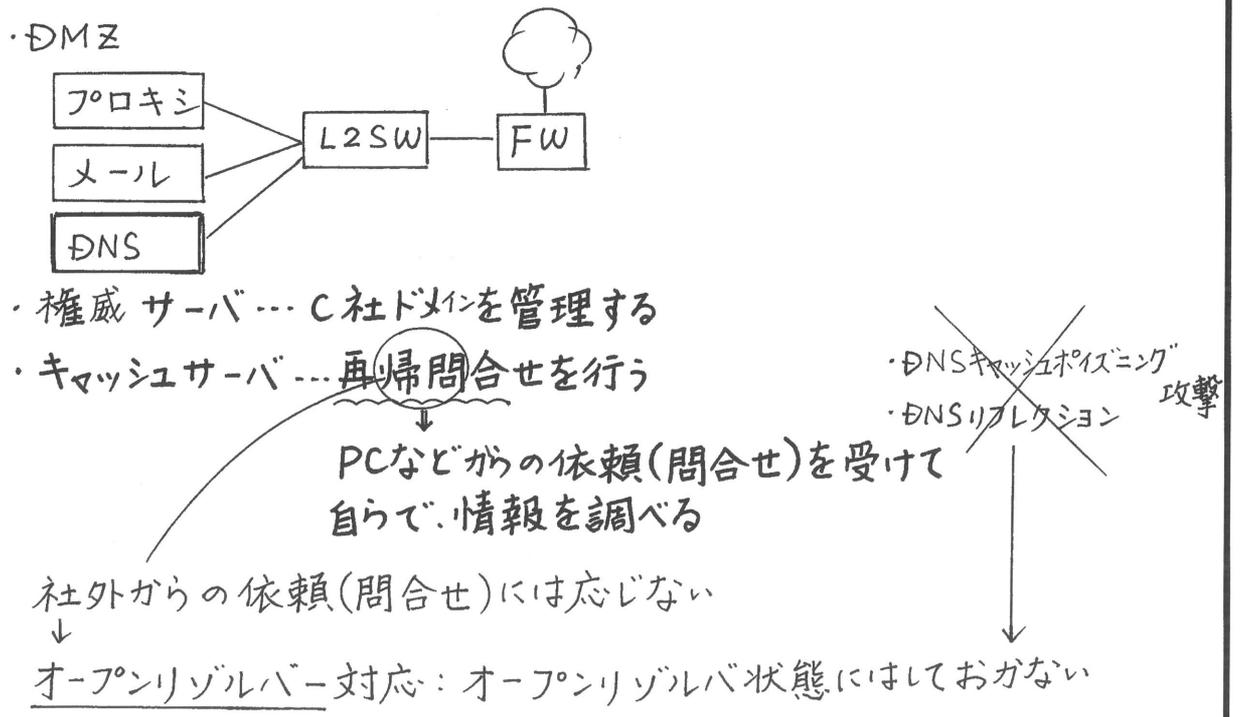
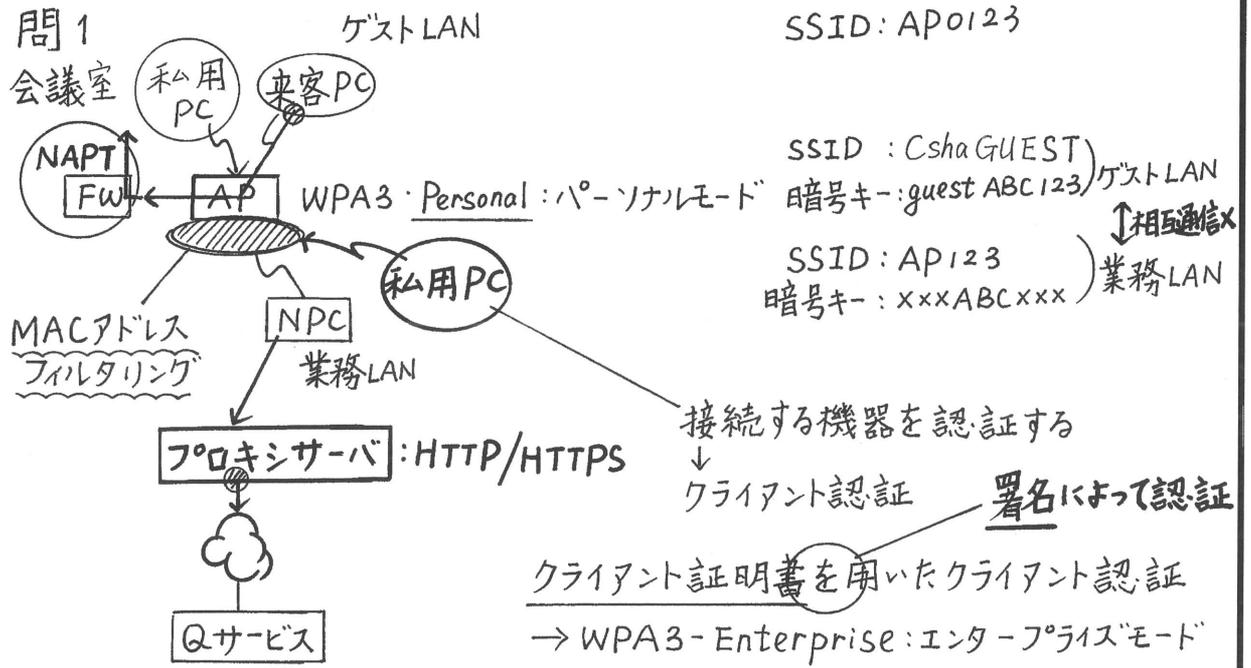
サービス不能攻撃: 大量アクセスを行い, サーバなどを 過負荷状態におとしいれる.

- ・ ISMAP
- ・ CVSS: 脆弱性を評価するための基準, 深刻度を数値で表す
 - ・ 基本評価基準
 - ・ 現状評価基準
 - ・ 環境評価基準
- ・ ISMS (JIS Q27000/27001/27002)
- ・ JC-STAR

情報処理 講義録	コース・講義等	応用情報	科目	公開模試解説 科目B	回数	1
----------	---------	------	----	------------	----	---

配布物	★テスト類： []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒板内容



情報処理 講義録	コース講義等	応用情報	科目	公開模試解説 科目B	回数	1

配布物	★テスト類： []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

・リアルタイムフィッシング

```

sequenceDiagram
    participant Employee as 社員
    participant FakeSite as 偽サイト
    participant RealService as (Qサービス)本物

    Employee->>FakeSite: ID.パスワード
    FakeSite->>RealService: ID.パスワード
    RealService-->>Employee: ワンタイムパスワード
    FakeSite-->>RealService: ワンタイムパスワード
  
```

IEEE 802.1x : 認証フレームワーク
 → RADIUS サーバ : 認証サーバが必須

情報処理 講義録	コース・講義等	応用情報	科	公開模試解説 科目B	科	回数	1
		目					

配布物	★テスト類： []	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒板内容

問2

① 外部環境を分析してから内部環境を分析 → アウトサイドイン

- ・市場の動向
- ・他社の動向
- ・法・基準などの変化
など
- ・自社

・バリューチェーン分析：付加価値の連鎖を分析する

購買物流 → 製造 → 出荷物流 → 販売 → マーケティング → サービス

・ファイブフォース分析：競争要因

- ・新規参入
- ・代替品
- ・買い手の交渉力
- ・売り手の支配力
- ・競合他社との競争関係

・マーケティングミックス

4P Product : 製品 ————— 4C Customer Value : 顧客価値

Price : 価格 ————— Cost コスト

Place : 流通 ————— Convenience : 利便性

Promotion : プロモーション ————— Communication : コミュニケーション

強+弱+機会脅威

SWOT
内外部環境

情報処理 講義録	コース・講義等	応用情報	科目	公開模試解説 科目B	回数	1
			科目			

配布物	★テスト類 :	[]	講師	根岸 先生
	★その他の配布物 1 :	[]		
	★その他の配布物 2 :	[]		

黒板内容

問2

a) 外部環境を分析してから内部環境を分析 → アウトサイドイン

- ・市場の動向
- ・他社の動向
- ・法、基準などの変化など
- ・自社

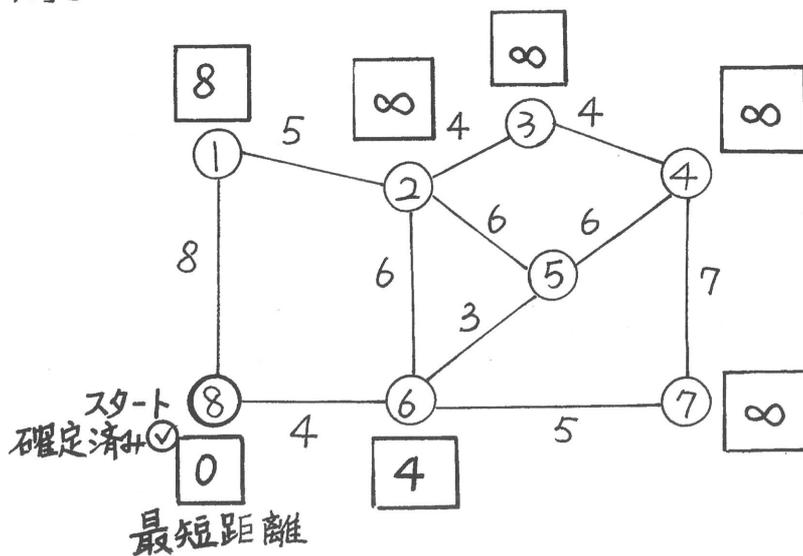
b) PEST : 外部環境をマクロ的視点で分析する

政 経 社 技
治 済 会 術

c) VRIO : 内部環境を分析する

経 希 模 組
価 少 困 織
値 性 難 織

問3

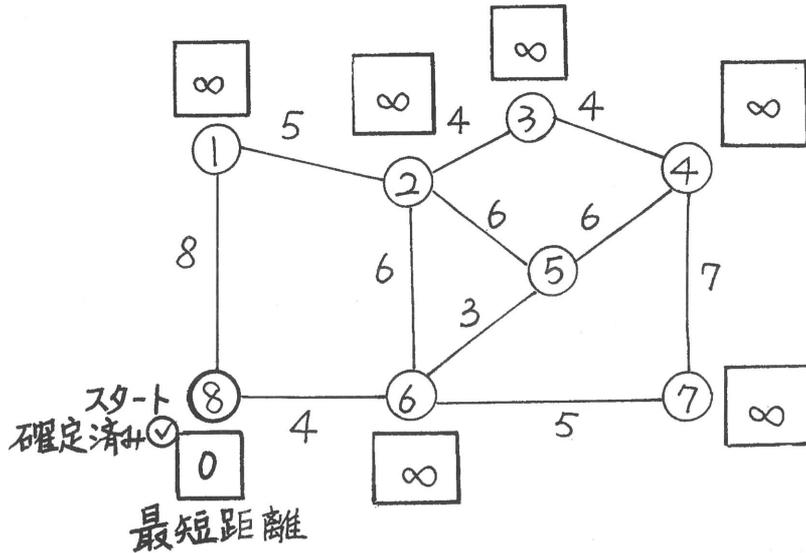


情報処理 講義録	コース・講義等	応用情報	科目	公開模試解説 科目B	回数	1

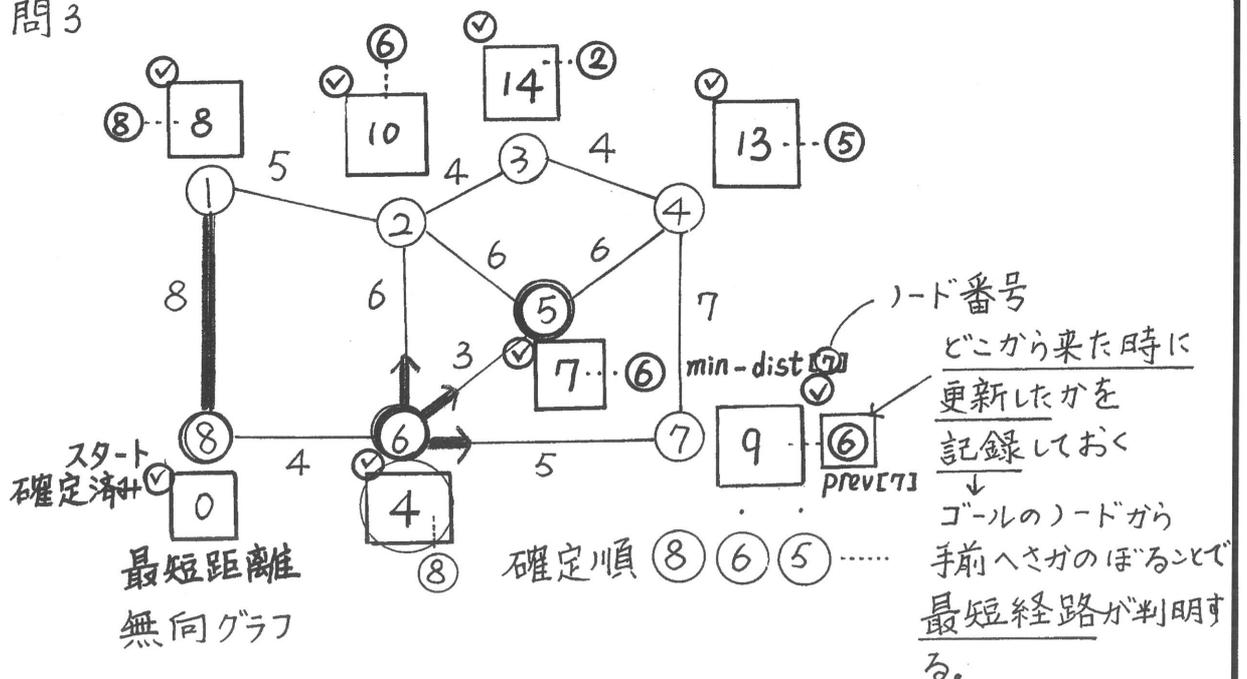
配布物	★テスト類：	[]	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1：	[]		
	★その他の配布物2：	[]		

黒板内容

問3



問3

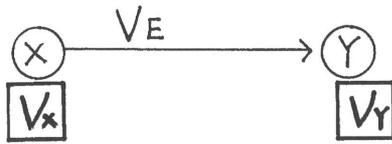


情報処理 講義録	コース・講義等	応用情報	科目	公開模試解説 科目B	回数	1

配布物	★テスト類 :	[]	講師	根岸 先生
	★その他の配布物1 :	[]		
	★その他の配布物2 :	[]		

黒板内容

〔更新〕



$V_x + V_E < V_y$ であれば

$V_y \leftarrow V_x + V_E$

⊗ 経路で ⊙ に行く方が距離が短ければ、
そちらを採用する

〔確定〕

未確定のノード中で、
距離が最小のものを
選び確定とする。

グラフ ⇒ 隣接行列 : dist
↑ 二次元配列

到着

dist		1	2	3	4	5	6	7	8
+		0	5	0	0	0	0	0	8
⊗	2	5	0	4	0	6	6	0	0
⊙	3	0	4	0	4	0	0	0	0
⋮									
	8								

無向グラフなので、
対角線(対角要素)に対して
対称に値が入る

↓
16行 ~ check_dist

例) $dist[1,8] \neq dist[8,1]$
↓
23行のifに合致して false を返す
 $if(dist[i,j] \neq dist[j,i])$

